

平成 21 年度

平戸市議会の概要



議会事務局

市の概況

1 位置・地勢

本市は、九州の西、長崎県の北西端に位置し、平戸島、生月島、大島、^{たくしま}度島、高島の有人島及び九州本土北西部の沿岸部に位置する田平と周辺の多数の島々で構成されています。

平戸島は、田平と平戸大橋により、生月島は、平戸島と生月大橋で結ばれています。大島、^{たくしま}度島、高島は離島であり、交通手段は船舶のみです。

面積は、235.60 km²で、山は、^{やすまんだけ}安満岳の 534.6m が最も高く、河川は、総じて短小で、^{こうそねがわ}神曾根川の 9.3 km が最長です。平坦地は少なく、起伏の多い地形で、海岸線は各所に岬が突出し、断崖などの自然景観が美しく、^{かわちとうげ}川内峠や^{しおだわらだんがい}塩俵断崖など本市の約 20% が西海国立公園に指定されています。

また、入り組んだ海岸線を持っているため、湾が多く、地方港湾は平戸港をはじめ 6 港、56 条港湾¹ が紐差港をはじめ 7 港、漁港は大小 33 港にも及んでおり、日本有数の漁港数を有しています。

気候は、周囲のほとんどが海に囲まれており、対馬暖流と季節風の影響を受け、海洋性の温暖な気候で、通年の平均気温は 16～17℃、年間平均降水量は 2,000 mm 前後です。

(1 港湾法第 56 条により都道府県知事が水域を定め公告した港湾)

2 沿革

本市の歴史は古く、約 9 万年前の日本最古級といわれる中期旧石器類が発見された入口遺跡や、長崎県本土では数少ない大和政権とのつながりを示す前方後円墳が 2 基残っているなど、古い時代から人の営みがあったことがうかがえます。

また、古代から開かれた古都であり、飛鳥時代、白鳳時代には遣隋使、遣唐使の寄港地として知られ、平安時代には、空海や栄西なども立ち寄りしました。大航海時代には、アジアやヨーロッパなど大陸交流の玄関口として栄え、16 世紀には、ポルトガル船が来航し、17 世紀前半には、オランダやイギリスの商館が設置されるなど、南蛮・紅毛文化やキリスト教伝来の発祥地として繁栄を極め、開かれた国際都市「西の都」として日本の近世、近代を切り開く礎となりました。

江戸時代後期には、^{ますとみくみ}益富組、^{いのもとしくじらくみ}井元氏鯨組など西海捕鯨の中心地として栄え、特に^{ますとみくみ}益富組は日本一の規模を誇っており、その遺跡も残っています。

明治 4 年の廃藩置県後、本市の各地区は市制、町村制施行等によりそれぞれ変遷を重ね、明治 22 年に大島村、昭和 15 年に生月町、昭和 29 年に田平町、昭和 30 年に平戸市が発足し 1 市 2 町 1 村となり、平成 17 年 10 月 1 日、新しい「平戸市」が誕生しました。

平成 21 年度 当初予算

(単位 : 千円)

歳 入			歳 出		
科 目	予算額	構成比 (%)	科 目	予算額	構成比 (%)
市 税	2,814,505	13.1	議 会 費	208,903	1.0
地 方 譲 与 税	253,100	1.2	総 務 費	3,062,420	14.3
利 子 割 交 付 金	21,800	0.1	民 生 費	5,116,749	23.9
配 当 割 交 付 金	6,000	0.0	衛 生 費	2,402,901	11.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,000	0.0	労 働 費	12,894	0.1
地 方 消 費 税 交 付 金	350,100	1.6	農 林 水 産 業 費	1,393,978	6.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	48,100	0.2	商 工 費	569,707	2.7
地 方 特 例 交 付 金	36,400	0.2	土 木 費	1,976,337	9.2
地 方 交 付 税	9,850,000	46.0	消 防 費	735,523	3.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,000	0.0	教 育 費	2,219,538	10.3
分 担 金 及 び 負 担 金	265,620	1.3	災 害 復 旧 費	29,565	0.1
使 用 料 及 び 手 数 料	303,511	1.4	公 債 費	3,623,307	16.9
国 庫 支 出 金	2,231,730	10.4	諸 支 出 金	58,178	0.3
県 支 出 金	1,657,871	7.7	予 備 費	30,000	0.1
財 産 収 入	40,683	0.2			
寄 附 金	2,040	0.0			
繰 入 金	240,422	1.1			
繰 越 金	10	0.0			
諸 収 入	380,608	1.8			
市 債	2,931,500	13.7			
計	21,440,000	100.0	計	21,440,000	100.0

平成 21 年度 歳出 【性質別】（単位：千円）

歳 出（性質別）		
科 目	当初予算額	構成比(%)
人 件 費	3,976,265	18.5
物 件 費	2,209,458	10.3
維持補修費	171,320	0.8
扶 助 費	3,011,959	14.1
補 助 費 等	3,228,202	15.1
公 債 費	3,623,307	16.9
積 立 金	29,311	0.1
投資及び出資金		0.0
貸 付 金	202,525	1.0
繰 出 金	993,538	4.6
前年度繰上充用金		0.0
投資的経費	3,964,115	18.5
普通建設	(3,934,550)	(18.4)
補助事業	2,039,727	9.5
単独事業	1,690,694	7.9
県工事負担金	204,129	1.0
災害復旧	(29,565)	(0.1)
補助事業	9,532	0.0
単独事業	20,033	0.1
予 備 費	30,000	0.1
歳 出 合 計	21,440,000	100.0

特別会計 （単位：千円）

特 別 会 計	当初予算額
国民健康保険	5,557,329
老人保健	5,673
後期高齢者医療	379,935
介護保険	3,113,245
農業集落排水	23,387
宅地開発事業	12,140
あづち大島いさりびの 里事業	36,112
電 気 事 業	19,560
計	9,147,381

他に給与管理特別会計あり 3,496,616 千円

企業会計 (単位：千円)

企業会計	当初予算額
水道	2,869,817
病院	2,585,590
交通船	167,355
計	5,622,762

各会計当初予算 (単位：千円)

会計別	予算額	構成比
一般会計	21,440,000	59.2%
特別会計	9,147,381	25.3%
企業会計	5,622,762	15.5%
合計	36,210,143	100.0%

* 自主財源

3,925,252 千円 18.3%

職員数

区分	定数	現員数	区分	人数	現員数
市長部局	357人	322人	消防局	消防本部 78人	75人
病院	141人	120人	交通船	10人	6人
水道局	21人	23人	農業委員会	9人	4人
議会事務局	7人	5人	教育委員会	86人	75人
選挙管理委員会	2人	2人	公平委員会		
監査事務局	4人	3人	合計	715人	635人

議会

(1) 議員数

法定数 26人
条例定数 23人(平成21年11月6日～)
現員数 27人(合併時の定数特例適用中)

任期 平成17年11月6日 ~ 平成21年11月5日

選挙

執行日	投票率	立候補者数
平成17年11月6日	87.27%	42人

党派別議員数

党派別	自由民主党	無所属	計
議員数	2人	25人	27人

会派別議員数 ()は党派別議員数

会派名	人員	会派名	人員
広和会	5人	新風会	3人
志士乃会	3人	新平戸	3人
新志会	3人	宝生会	4人
ヒューマン21	3人 (自由民主党1人)	立志会	3人 (自由民主党1人)

当選回数別議員数

回数	1
議員数	27人

年齢別議員数(平成21年4月1日現在)

【平均年齢59.37歳】 * 最年少47歳・最年長72歳

年齢	40~49	50~59	60~69	70以上	計
議員数	1人	12人 (女性議員1人)	12人	2人	27人

(2) 議員及び三役報酬

役 職	現 額	旧 額	備 考
議 長	394,000 円	415,000 円	5%減額、平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 11 月 5 日までの特例措置
副議長	330,000 円	347,000 円	〃
委員長			
議 員	310,000 円	326,000 円	5%減額、平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 11 月 5 日までの特例措置
市 長	712,000 円	809,000 円	12%減額、平成 18 年 4 月 1 日施行
副市長	566,500 円	598,000 円	平成 20 年 4 月 1 日施行、2 人制、平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 11 月 27 日までの特例措置

報酬

区 分	内 容
教育委員会委員	(月額) 38,000 円
選挙管理委員	(〃) 19,000 円
選挙長	(日額) 10,600 円
投票管理者	(〃) 12,600 円
開票管理者	(〃) 10,600 円
投票立会人	(〃) 10,700 円
開票立会人	(〃) 8,800 円
監査委員(識)	(月額) 156,000 円
監査委員(議)	(〃) 42,000 円
公平委員会委員	(日額) 5,000 円
固定資産評価委員	() 円
固定資産評価審査会委員	(日額) 5,000 円
農業委員会委員	(月額) 23,500 円
その他の委員	(日額) 5,000 円

(3) 視察旅費等

常任委員会	1人 150,000 円
議会運営委員会	1人 150,000 円
特別委員会	随 時
政務調査費	* 1人 120,000円(年額) P 13政務調査費用途基準
費用弁償	交通費のみ実費弁償

(4) 旅費額の基準

議長	長	日当	3,000円
副議長	長	宿泊料	県内 13,300円 県外 14,800円
議員	員	日当	2,200円
一般職員	員	宿泊料	県内 9,800円 県外 10,900円
随員職員の旅費		議員と同等の額を支給(日当を除く)	

(5) 期末手当

6月支給割合	100分の160
12月支給割合	100分の175
加算割合	100分の15

(6) 常任委員会

委員会名	定数	現員
総務委員会	9人	8人
産業建設委員会	9人	9人
文教厚生委員会	9人	9人

*議長はその職務上、総務委員会に所属したあと辞任する。

(7) 特別委員会

委員会名	所管事項	委員数
西九州自動車道整備促進	西九州自動車道整備促進に関する事項	8人
行財政改革	行財政改革に関する調査及び健全な行財政制度の構築に関する事項	11人
議会広報	議会報の発行及び調査研究に関する事項	7人

(8) 議会運営委員会

人員	構成
8人	定数は、会派所属議員数をもって定める。 所属議員数 3人～5人までの会派 1人 6人～10人までの会派 2人 11人～15人までの会派 3人 16人以上の会派 4人

(9) 任期

正・副議長	申し合わせで2年
常任委員	条例で2年

(10) 議会運営委員会

区 分	内 容
委員外議員の出席	議長・副議長及び会派に属さない議員は、委員外議員として出席要請をするものとする。
代理出席	委員に事故あるときは、同会派からの代理出席を認めているが、その場合も委員長から出席要請をしている。
研修視察への参加	オブザーバー及び代理参加は認めない。
本会議での委員長報告	なし
定例会前の議運開催日	招集日の6日前
議案の配布	招集日の10日前に各議員へ発送

(11) 議会運営

区 分	内 容
[一般質問] 通告締切	議会運営委員会開催（招集日の6日前）前日の午後5時
発言順序	議会運営委員会で決定（くじによる）
人数及び日数	通常1日5人 2日～4日
質問の制限	答弁を含め1人60分以内 回数制限なし
[議案質疑] 質疑の制限	なし
質疑の実態	意見、要望等は避け大綱的質疑にとどめて細部は委員会に一任するように申し合わせているが、細部にわたる質疑がみられ、意見、要望にわたるものがある。
[委員会] 審査日程	3日程度 原則として1日1委員会
会議録及び委員会記録 について	・ 会議録は業者へ委託 ・ 委員会についてはMD録音。職員で要点のみ記録

(12) 予算・決算審査

当初予算	各常任委員会へ分割付託（全て）
決 算	決算特別委員会を設置し、審査を行う。

(13) 請願・陳情

区 分	請 願	陳 情
締 切 日	議会運営委員会開会前日まで	議会運営委員会開会前日まで
紹介議員数	1人以上	不要
取 扱 方 法	所管委員会に付託	議会で検討を要するもののみ 関係委員会で審査を行い、その結果を報告するのみ

(14) 本会議開催状況 (平成 20 年)

区 分	会 期	本会議日数	一般質問者数	傍聴者数
第 1 回定例会	3月3日～24日	6	11	39
第 2 回臨時会	5月20日	1		0
第 3 回定例会	6月9日～20日	5	12	47
第 4 回定例会	9月1日～16日	6	9	43
第 5 回定例会	12月1日～15日	5	11	50
計	66	23	43	179

(15) 会議録・議会だより

区 分	会 議 録	議 会 だ よ り
仕 様	A 4 判 約 360 ページ	A 4 判 18 ページ 表紙カラー刷り その他 2 色刷り
作 成	外部委託による録音テープ反訳	議会広報特別委員会による編集 原稿作成は議員自ら行う。 委員会・各常任委員会・特別委員長が責任をもって作成する(文責・委員長の表示あり)。 一般質問・質問、答弁ともに一般質問者(答弁については会議録用原稿を参照して自ら作成している)。 その他・議会広報特別委員が作成する。
発行部数	58 部 年 4 回	14,000 部 定例号 年 4 回、臨時号(予定)年 1 回

(16) 会議録検索システム

区 分	内 容
運 用	現在、庁内 LAN の活用により、職員の各端末から検索できる。 また、インターネット(市議会ホームページ)で公開している。

(17) 市議会ホームページ掲載およびリンク先

議員・会派名簿

各種名簿（法定・法定外）

手続き関係（請願・陳情・傍聴案内・行政視察）

本会議関係（会期日程・一般質問一覧表）

議会だより（PDFファイル）

会議録検索システム

(18) 市議会放映

放映方法：生中継（議会開会日）録画（議会閉会日の概ね3日後）

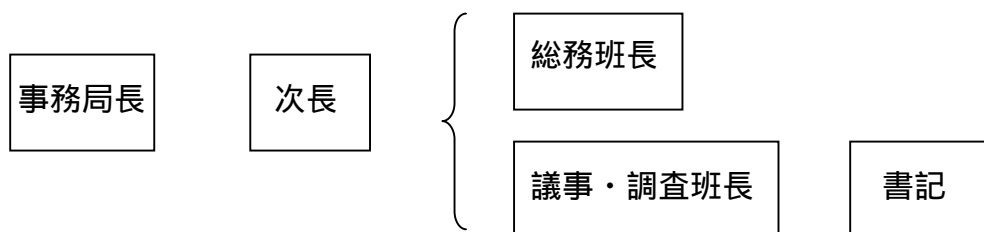
市内公共施設で議会生放送が見られる箇所

（平戸地区：6、生月地区：4、田平地区：2、大島地区：ケーブルテレビ）

アクセス手順（平戸市ホームページ 平戸市議会 議会中継）

(19) 職員体制

定数7名 現員5名



政務調査費使途基準

項 目	内 容
研究研修費	会派が研究会又は研修会を開催するために必要な経費又は会派の所属する議員等が他の団体の開催する研究会又は研修会に参加するために要する経費 (会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、交通費、旅費、宿泊費等)
調査旅費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費 (交通費、旅費、宿泊費等)
資料作成費	会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (印刷製本代、翻訳料、事務機器購入、リース代等)
資料購入費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	会派の調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、PRするために要する経費 (広報紙、報告書印刷費、送料、会場費等)
広聴費	会派が住民からの市政、会派の政策等に対する要望及び意見を吸収するための会議等に要する経費 (会場費、印刷費、茶菓子代等)
その他の経費	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費